

令和7年度 生涯教育研修会カリキュラム

公益社団法人 山梨県栄養士会 (2025.4.3)

基:基本研修  
実:実務研修

日 時	オンデマンド 配信期間 (予定)	講演・ 演習	番号は、基・実別の 項目番号、 ( )内:認定分野別 名、太字は当日の 担当職域事業部)	演 題 お よ び 講 師	ご 講 演 の 内 容
6月15日 (日) 山梨 市民会館	10:00~ 11:30	6月27日 (金) ~ 7月14日 (月)	実務 23-105 (臨・健・給・公 ・地・福)	糖尿病とCKDの重症化予防について 原口内科・腎クリニック 院長 原口和貴 氏	近年の糖尿病とCKDの治療法の進歩は、専門医の予想を遥かに超える速度でした。一方、山梨県では「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」が今年度より新たに名称も変え「糖尿病重症化予防プログラム」に改定され、重症化予防対策が再構築されます。両疾患の基本的治療である食事療法も、これらの進歩に対応する必要があります。また、人口の高齢化はフレイル、介護などの問題を生じ、蛋白摂取の問題など、新たに考慮すべき問題を提起しています。コンビニ食も糖尿病とCKDには脅威です。本講演では、十人十色の信条、生活習慣、食生活を持つ患者さん達に栄養を通してどのように接していくか、一緒に考えてみたいと思います。
7月19日 (土) びゅあ総合 中研修室	10:00 ~ 11:30	8月8日 (金) ~ 8月25日 (月)	実務 21-110 (公)	福島県における減塩の取り組みについて 福島県保健福祉部健康づくり推進課 渡辺春佳 氏 ※会場集合型ZOOMライブ研修	山梨県では一人あたりの食塩摂取量が多いことが課題の1つですが、同様の課題を抱える自治体において、スーパーや給食施設(社員食堂)と連携した減塩の取り組みが行われています。スーパーでは既存の惣菜について、おいしさをそのままに減塩し、減塩したことは利用者には告知せず販売したり、給食施設では、みそ汁等を利用者に告知せずだし等を活用して段階的に減塩したりしました。県内企業や給食施設、自治体が連携し、地域を巻き込んだ減塩の取り組みをご講演いただきます。
	12:30 ~ 14:00		実務 21-102 (学・健・地・福)	食事摂取基準2025年版の活用「ミネラル」 女子栄養大学 栄養学部 教授 上西一弘 氏	日本人の食事摂取基準2025年版では、生活機能の維持・向上の観点から、生活習慣病に加えて、骨粗鬆症とエネルギー・栄養素との関連も整理されました。今回はミネラルのうち、カルシウムと鉄に着目して「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会ワーキンググループのメンバーである上西先生より、骨代謝に関する最新の知見を交えてご講演いただきます。
	14:15 ~ 15:45		実務 46-113 (福・公・地)	同職種間連携を深めるためのコミュニケーション スキルアップ 合同会社アクトクリア 代表 渡部 幸 氏	自分自身をよく知り、自分を認めることは、セルフイメージを高めることとなります。この方法を持っていると、目標達成や不安、悩みの解決に大きな影響を与えます。また、ひとりひとりが主体的に仕事の目標達成、課題解決に取り組めるよう「気づき」や「視点の広がり」を身に付けると、他者とコミュニケーションがより深いものとなります。今回は、そういったコミュニケーションのスキルアップについてご講演いただきます。
8月23日 (土) びゅあ総合 中研修室	10:00 ~ 11:30	9月12日 (金) ~ 9月29日 (月)	実務 412-101 (臨・公・地・福)	小児糖尿病患児の支援 ~医療・保護者・教育機関との連携~ 山梨県立中央病院 小児科部長 主任医長 齋藤朋洋 氏	山梨大学医学部やまびこの会は、小児糖尿病サマーキャンプを主催されています。長年、サマーキャンプを通じて子どもたちを支援されている齋藤先生より、小児糖尿病の児童・生徒への教育や支援、保護者への支援や教育関係者との連携についてご講演いただきます。
	12:30 ~ 14:00		実務 23-114 (公・福・地・健)	ダウン症のあるお子さんの食支援について いつむら歯科クリニック 院長 山梨県口腔保健センター 摂食嚥下外来担当歯科医師 逸村一紀 氏	ダウン症候群は筋緊張低下により、哺乳力が弱く、口唇閉鎖不全、舌突出、押し潰し機能不全を呈することが多いです。また、咀嚼機能不全も伴い、咀嚼が少なく丸のみする傾向があります。摂食機能はゆっくり発達するため、摂食機能の発達に合わせた食物形態を考慮し、適切な指導を行うことが重要になります。
	14:15 ~ 15:45		実務 25-102 (学・健・公・地・福)	病態・栄養・薬剤・検査値の知識が結びつく栄養療法 ちゅうざん病院 副院長 JSPEN九州 大会長 吉田貞夫 氏 ※会場集合型ZOOMライブ研修	患者の栄養状態は、疾患の治療、回復、重症化予防と密接に関わっているため、その評価は適切な栄養療法を実施するうえで重要です。栄養素としての基礎知識、正しい摂取のしかた、それぞれに対するアプローチのしかたを考えるためのトレーニングについて、ご講演いただきます。
10月4日 (土) びゅあ総合 中研修室	10:00 ~ 11:30	10月24日 (金) ~ 11月10日 (月)	実務 23-102 (臨・健・給・公 ・地・福)	糖尿病治療 ~最近の知見と山梨県糖尿病対策推進会議の取り組み~ 山梨大学大学院 総合研究部 医学域臨床医学系 教授 土屋恭一郎 氏	本講演では、山梨県の糖尿病患者数や合併症の状況、治療中断の問題、2024年版糖尿病診療ガイドラインにおける食事療法の新しい考え方、働き世代の受診中絶への具体的な対策など、最新の糖尿病診療の話題を交えながらご講演いただきます。また、最近の山梨県糖尿病対策推進会議の取り組みもご紹介し、皆様と一緒に山梨県の糖尿病の重症化予防について考えます。
	12:30 ~ 14:00		実務 412-101 (臨・公・地・福)	栄養管理体制の基準の明確化とシームレスな同職種間連携について 群馬県済生会前橋病院 栄養科 科長 宮崎純一 氏	令和6年度診療報酬改定において標準的な栄養スクリーニングとGLIM基準を活用した栄養状態の評価が盛り込まれました。また、医療と介護における栄養情報連携を推進する観点から、栄養情報連携料が新設されました。これら改定の経緯と実際の運用についてご講演いただきます。
	14:15 ~ 15:45		実務 47-107 (地・健)	江戸の物語に描かれた食べ物 ~文学に見る食文化の源流~ 名城大学 外国語学部 准教授 畑 有紀 氏	2005年に「食育基本法」が制定され20年が経ちます。食育基本法7つの基本理念の1つに「伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮および農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献」が挙げられています。今回の講演では「食文化」に焦点をあて、室町時代から江戸時代の食物の文化史を専門とする講師から、江戸時代の物語から読み解いた当時の人々の食に対する知識・思想・食の意義などをお話いただきます。
12月13日 (土) 未定	10:00 ~ 11:30	2026年 1月9日 (金) ~ 1月26日 (月)	実務 46-102 (学・健)	学校教育現場における個別的な相談指導について 栃木市大平学校給食センター 栄養教諭 中田智子 氏	学校教育現場では、現在、栄養教諭による専門性を生かした個別的な相談指導が求められています。本研修では、栄養教諭が行う個別的な相談指導の具体例や効果的な導入方法、必要な知識、そして今後の指導についてご講演いただきます。
	12:30 ~ 14:00		実務 46-106 (臨・地)	「飲酒支援」で考える生活習慣改善アセスメント ~行動変容ステージに応じたアプローチ方法~ 公益財団法人結核予防会 総合検診推進センター 佐野喜子 氏	保健指導のアセスメントでは、目標に対する行動変容ステージをもとに指導を進めていくことが知られています。今回は「飲酒」に的を絞り、上手に習慣を変えていく方法や、アセスメントのポイント、コツをご紹介いただき、「飲酒」について考えていきたいと思います。
	14:15 ~ 15:45		実務 90-110 (全分野共通)	栄養士、管理栄養士業務におけるハラスメント、 メンタルヘルス対策 岡元行政書士事務所 岡元社会保険労務士事務所 所長 岡元正芳 氏	栄養士、管理栄養士は様々な職場で勤務しています。職場内では少数の職種であり、一つの事業所で1名のみ配置の現場も多くあります。職場の中のハラスメント対策や、患者、家族からのカスタマーハラスメントへの対応など、メンタルヘルス対策についてどのように備えればよいか、ご講演いただきます。
2026年 2月7日 (土) 山梨学院 短期大学 51号館 205教室 (1限目) および PCルーム (2・3限目)	10:00 ~ 11:30	2026年 2月27日 (金) ~ 3月16日 (月)	実務 47-101 (地・学・福)	検索方法で自分の知りたい情報をしっかりと掴む ~より良い情報収集のやり方~ 特別養護老人ホーム 尚古園 管理栄養士 望月直哉 氏	インターネットの普及によりさまざまな情報が溢れ出ている社会となりました。管理栄養士・栄養士として正しい情報なのかどうか、具体的に調べるにはどうしたら良いか、様々な観点から情報収集についてご講演いただきます。
	12:30 ~ 14:00		実務 47-101 (学・地・福)	学校教育現場におけるICT活用について 山梨学院大学 共通教育センター 教授 NPO法人 山梨情報通信研究所 理事長 伊藤栄一郎 氏  ※対面受講推奨の内容です。	学校教育現場では、現在、ICTを活用した教材作成が求められています。本研修は、学校教育現場に必要なICT活用に関する知識や効果的な教材作成方法について、パソコンを使ったワークショップ形式で行います。学校教育現場で働く栄養士にとっても、ICT活用が促進されることが期待されます。
	14:15 ~ 15:45				

分野別: 臨床 R、学校 G、健康・スポーツ KS、給食管理 K、公衆 P、地域 T、福祉(高齢者・障がい者) FS、福祉(児童) FG の各栄養分野

生涯教育の構成: 生涯教育は、「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得する基幹教育と、専門とする分野ごとにその専門性を高める拡充教育があります。基幹教育は、専門知識・技術の習得と実践力をつけ、対象者の状況に関わらず一人ひとりに応じた適切な「栄養の指導」ができることを目指し、基本研修と実務研修に分かれています。基本研修は、管理栄養士・栄養士としてのミニマムスタンダード(守られるべき最低限の基準。最低水準)を身につけることを目的としています。(対面又はWebで学習します)実務研修は、専門とする分野に特化される知識と技術を習得することを目的としています。(対面又はWebで学習します)基本研修30(うち必須単位20)単位、実務研修30(臨床栄養分野は40)単位受講すると、認定試験の受験資格が得られ、これに合格すると専門分野別の〇〇認定管理栄養士・〇〇認定栄養士として認定されます。この制度は、熟練した栄養に関する技術と知識を用いて、「栄養の指導」について責任をもって実践できるレベルに到達した事を日本栄養士会が認めるものです。

拡充教育は、専門領域の特定の分野におけるさらに高度で詳細な専門知識・技術、学術(教育・研究スキル)を向上させるものとして位置づけられています。拡充教育は特定分野の研修とマネージメントリーダー研修、専門研修に分けられていますが、今後のさらなる発展を検討中です。

まずは、受講してみましょう。スタッフ・受講者はみんな同じ仲間です、教え・教えられるながら、少しずつスキルを上げていきましょう。